

モジュール5

芸術作品に特化したコピーライティング技術

【ワークの目的】

学芸員の「翻訳力」を、SNSで「売れる言葉」へと変換する技術を習得します。専門的で難解になりがちなアートの言葉を、ファンの心に届き、購買意欲を刺激する表現へと昇華させることで、情報の海の中でターゲットを瞬時に立ち止まらせる力を身につけます。

【Q1：仕組みによる意識の書き換え】

（AIワーク1：専門用語の「小学生向け」翻訳の結果を受けて）

AIが美術用語を比喻や優しい言葉を使って「小学生でも凄さがわかる」ように翻訳した結果を読み返してください。

- これまで自分の技術を説明する際、「正しく伝えなければ」という思いから難しい言葉を選び、結果として誰にも見てもらえないという孤独感を感じていませんか？ その孤独感を具体的に書き出してみてください。
- AIによる翻訳を通じて、どれほど高尚な技術も「言葉の架け橋」がなければ相手に届かないという事実に触れたとき、あなたの「表現者としてのこだわり」の伝え方はどう変化しましたか？
- 言葉が難しすぎたのは才能の欠如ではなく、単なる「翻訳の視点」の欠如であったと捉え直したとき、明日からどのような「誰にでも開かれた言葉」で作品の凄さを語り始めたいですか？ 具体的に書き出してください。

【Q2：学芸員視点による価値の再定義】

（AIワーク2：心理学に基づいた「指を止めさせる」コピー量産を受けて）

タイムラインで手を止めさせるための、心理学に基づいた20個のキャッチコピーを確認してください。

- 提示されたコピーの中で、あなたの作品が持つ「まだ言語化されていなかった魅力」を最も鮮やかに射抜いていると感じたフレーズはどれですか？

- 「学芸員の審美眼」で磨かれた「フック」の強い言葉を自身の武器として受け入れたとき、あなたは自分のプロフィールや投稿を、どのような「新規ファンが思わずフォローしたくなる招待状」へと作り変えたいと感じましたか？

【Q3：理想の未来と社会への貢献】

（AIワーク3：潜在顧客に届く「検索キーワード」の抽出を受けて）

あなたの作品を探している潜在顧客が、検索窓に入力しそうな10個のキーワードを確認してください。

- これらのキーワードを意識した発信を行うことで、あなたの作品は「誰に見つかるべき人」のもとへ届き、その人の日常にどのような変化をもたらしていますか？（例：新しい生活を始めようとする女性を励まし、観るたびに勇気づけ、成長に伴走し、成長し続ける効果を与える作品）

- あなたが「適切な言葉」を選び、アルゴリズムの壁を超えて潜在顧客と繋がることは、あなたの作品を必要としている人々に対して、どのような「出会いの喜び」や「救い」を提供することになると確信していますか？ あるとしたら根拠は何ですか？

- 「言葉の一貫性」を保ち、プロフェッショナルとしての信頼を築いたあなたが、表現を通じて社会に与えたい影響を記述してください。

【本日のプロフェッショナル宣言】

風茜の教えと本日の内省を経て、あなたがプロとして一生守り抜くと決めた信念を清書してください。

「私は、学芸員視点の（ ）を磨き、自らの表現を通じて（ ）
という価値を、届くべき人に言葉で繋ぎ続けることを誓います